



まきのほら 市議会だより

第15号

平成21年
8月12日発行



4月からスタートした複式学級（片浜小）

6月定例会 会期6月3日(水)～6月25日(木)

- **議案を慎重にチェック!!**
- **議員定数、さらに2名減!!**
- **議員期末手当も10%カット!!**
- **次期市長選への出馬は!?**

定例会概要	2
議員発議	4
臨時議会	7
一般質問	14

めぐり、紛糾した議会

平成21年第5回牧之原市議会定例会

会期6月3日から6月25日（23日間）

今回の定例会では、21年度一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など議案8件が提出されました。

議案1件に関して撤回を承認し、その他7件については各常任委員会での慎重な審査を経て、原案どおり全て可決されました。

また、議員発議により「議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」が提出され、可決されました。

なお、一般質問は17・18日の2日間行われ、13人が当面する課題について見解をいただきました。



平成21年度一般会計補正予算

補正額

2億5,540万円を追加

主な事業（補正理由）

◆還付及び還付加算金

- ・景気低迷による業績悪化を受けてのもの

◆緊急雇用対策費

- ・河川・海岸環境整備員の雇用
- ・保育士補助員の雇用 など

◆選挙管理委員会運営費

- ・県知事選挙などに係るシステム改修業務

◆後期高齢者健康診査事業費

- ・後期高齢者人間ドック受診事業

○平成20年度牧之原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

報 告

○平成20年度牧之原市水道事業会計建設改良費繰越額の報告について

▼議案質疑

問 大沢保育園新築設計時に、市内初の完全木造化実現要請を正副委員長で申し入れたにもかかわらず、鉄筋コンクリート造りになったのはどうしてか。（鈴木正）

答 確約はしておりません。

○細江保育園新築工事（建築工事）請負契約について
〔全員可決〕

新築工事請負契約

質疑あれこれ

6月定例会に上程された議案の中から
質疑、賛成・反対の討論が繰り広げられ
た主なものを、お知らせします。

定数削減

条例の一部改正

○牧之原市特別職報酬等審議会
条例の一部を改正する条例

〔撤回を承認〕

撤回

撤回理由

特別職報酬等審議会委員の任期の設定については、特別職だけでなく議員報酬についても答申をお願いすることを考えると、関係者での十分な議論が必要と判断したため。

撤回質疑

問 議案に対し「否決になりそう」という事で撤回するのであれば、安易に改正案を出してきたとは思えないが。

（大鐘）

答 特別職だけでなく議員報酬についても答申をお願いすること考えると、議会の意見等も踏まえた中で提案すべ

きでした。そうしたプロセスが欠けていました。

問 審議会から諮問していない内容を答申され、県下では例もなく、全国的に見てもほとんど例がないという、報酬審議会委員の任期を2年に定める条例をなぜ作ろうとしたのか。

（太田）

答 庁内会議もほとんどなく、任期の定めがある、各種委員会の条例の条項を改正するような認識しかありませんでした。議会との議論もすべきでした。

問 十分協議していないのに上程してしまったでは済まないが、取下げる理由は何か。また、審議会委員にはどのような説明するのか。

（鷺坂）

答 審議会は市長の諮問機関だが、必ずしも審議会の答申イコール市長ではない。よって、答申を踏まえ最終的に行政の長である市長が判断するべきでした。関係者へは、プロセスが欠けていたと状況を報告します。

問 ①議案の撤回要件をどのようにお考えか。

②慎重さに欠けるが、撤回責任についてはどうか。（大石）

答 ①提出議案に誤りがあった場合。

②今回はプロセスを欠いていたということです。先の当初予算の否決もあり、対外的に議会と市長の関係や不安を考へてのことでもあります。

その他可決された議案一覧

○平成21年度牧之原市一般会計補正予算（第1号）
〔全員可決〕

○平成21年度牧之原市一般会計補正予算（第2号）
〔全員可決〕

○牧之原市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
〔全員可決〕

○あらたに生じた土地の確認について
〔全員可決〕

○字の区域の変更について
〔全員可決〕

○市道路線の廃止について
〔全員可決〕

議員 発議

○牧之原市議会議員の定数を定める条例の一部改正する条例

▼提案理由

平成20年9月議会において議員定数特別委員会を設置して、検討を重ねて来た結果を踏まえ、昨年12月定例会において議員定数を「19人」に決定しました。

しかし、請願者から「もっと減らすべきである。再度検討してもらいたい。」との請願が、6月16日に提出されました。

「19人」という新定数は、議決したことではありませんが、特別委員会においても「15人」と「19人」は二分しており私たちとしては市民感情をくみ取り、再度検討の余地有りと考えました。市を取り巻く現状や、近隣市の状況なども視野に入れて再考し、議員定数を「17人」に改めるものです。

(太田)

▼議案質疑

問 余りにも議員の活動、請願の重さを考えずに行動しす

ぎ。減らせという風潮にただ合わせ、今度の選挙で有利に立つなど、そんな駆け引きばかり。もっと議論すべきではないか。

(樽林)

問 本日説明を受けて、いきなり審議・採決とはあまりにも強引であり、議会の進め方に問題がある。

今一度、特別委員会の設置を要望します。

(大鐘)

問 請願の取扱いに疑問があるまま、十分な協議もしないで定数を決めることに疑問を感じます。再度協議すべきであり、このまま進めるなら棄権します。

(鷲坂)

問 特別委員会を設置して議決した定数です。請願の取下げが明らかでないままの議員発議の行為は、議員として公序良俗に反する行為ではないのか。

(糸田)

問 6月23日に請願の説明が全協で初めてあり、検討不十分のまま議員発議が25日出され、請願・発議ともに十分議論して、臨時議会を開催し、慎重に結論を出すべきである。

(笠原)

答 私は決して思いつきで、

間をとって17人という定数を提案した訳ではなく、議会全体の問題として議員全員が等しく責任を共有し、市民に説明、納得して頂ける結論はこれしかない判断したからです。議員発議については、議員の持つ権限を行使したという事です。

(太田)

▼議案に対する討論

《賛成討論》

●議員を減らせば市が良くなるのか。世の風潮に合わせれば、次の選挙はご安泰という、そういう考え方は本当に市のためになるのか。賛成討論者は17人の根拠を事細かに示して欲しい。それができないなら、発議自体が間違っている事を自覚すべき。

(樽林)

●特別委員会で協議の末、本会議でも可決されている件に対し、なぜ今17人なのか。その根拠は。今大切なことは数の削減ではなく、経費の削減でなければならぬと思うが。

(本杉)

《賛成討論》

●17人の新しい提案は、牧之原

市議会にとって、市民の意見を反映した、千載一遇の議会改革の具現化だと考える。

当初は、17人までの削減を主張した唯一の議員として、議会と市民双方の有益性を熟慮して、本提案に賛成する。

(鈴木勇)

●昨年の12月議会で議決した議員定数19には議決の重みがあるが、市民のなご一層の削減要求が強い中、周辺市町の削減状況や市の厳しい財政状況を鑑み、定数17の議員発議に賛成する。

(名波)

可決

賛成10名
反対2名

採決結果

賛成者

・中山 香
・中野 康子
・小杉 康男
・名波 富幸
・増田 仁
・太田 佳晴
・大関 住男
・鈴木 正樹
・田村 兼夫
・鈴木 勇次

反対者

・本杉 光雄
・樽林 憲樹

退席者

・鈴木千津子
・笠原 恒彦
・松浦 毅
・大鐘 俊英
・鷲坂 隆夫
・加藤 祥司
・糸田 幸一
・大石 和央

退席理由

一度受理した定数15人とする
請願が本会議で審議されず、議
員発議として急遽提出された議
員定数17人とする案件が、協議
されないまま即採決されること
は、議会ルールを無視しており、
応じられない。

この条例が可決されたことに
より、次回の選挙から、17人
となりました。

議員定数19人から、 17人までの流れ

①平成20年9月～12月
(議員定数検討特別委員会
で計8回の審議を経て、議員定
数19と決まる)

②平成20年12月本会議

(議員発議により、定数19人案
で可決)

平成21年

③6月16日 請願書の受理
(議員定数削減について)

④6月19日 議会運営委員会の
開催
(請願の審議日程について)

⑤6月23日 全議員協議会の開催
(紹介議員から請願の説明)
(議員から折衷案として、定数
17人案が出る)

⑥6月24日 請願の紹介取消
(紹介議員より請願の紹介取
消の申出書が提出され、受理)

⑦6月25日 本会議最終日

(1)議会運営委員会の開催 8:30

(議員発議・請願について)
(意見まとまらず、一旦閉
会)

(2)本会議を開会 9:00
(直後、暫時休憩)

(3)議会運営委員会の再開 9:02

(開会前に引き続き、議員発
議・請願について協議)

(4)全議員協議会の開催 9:30

(議員発議・請願について)

(5)本会議を再開 10:30

(6)議事進行に関する発言
(大石議員から発言がある)

(7)大石議員が退席

(8)議員発議の提案説明

(9)質疑

(6人の議員から質疑があ
る)

(10)さらに、7人の議員が退席

(11)討 論

(4人の議員から討論があ
る)

(12)採 決

(定足数11人以上が議席に
いるため、採決を行う)

議員定数削減についての請願書

平成21年6月16日

牧之原市議会議長 川島 啓司 様

請願者 松下 進、本杉 芳郎、榎田 敏雄
紹介議員 田村 兼夫

◎ 請願の趣旨

牧之原市議会は、次の選挙からの議員定数を19人と決定しましたが、現在の牧之原市の現状においては、議員数が多すぎるというのが一般の市民感情です。

市民の代表である議員は、身近な市民の意見を聞き取り、斬新的な考えから議員定数を更に減らすべき結果を出すべきであり、議員定数については15人とするべく再検討するよう請願するものです。

以下 省略

請願提出から

取下げまでの経緯

▽6月16日

請願者3名から、

請願書の提出

▽6月24日

紹介議員から、

請願の紹介取消申出書が提出

取消理由

請願の趣旨には賛意を持ち、紹介議員となったが、定数「17人」の議員発議が提出されるようになったため。

▽6月25日 本会議最終日

▽6月26日

請願者3名より、

請願取下申出書が提出

取下理由

議員定数を17人とする議員発議が提出されたため。

動議

○議長不信任案の提出について

①提案者から動議が提出。1名の賛成者があり、動議が成立。

②本会議の日程に追加し、議題とするかを採決。10対10で議長採決となり、動議を日程に追加することに決定。

③議長に係る議案であるため、議長は退席。議長に代わり、副議長が議長席へ着席。議事進行を行う。

④提案者から提案説明。

⑤1名の反対討論がある。

⑥採決

動議とは…

会議の進行中に、予定議案以外の議案を、議員が口頭または文書で発議し、一名以上の賛成者があれば成立し、議題となり、議決されるものです。

▼提案理由

議長職不適格の一例をあげれば、今回の議員定数削減再審要請請願への対応や措置がいかにずさんでたためであり、議長として適切な措置を誤ったことは、議場に在る議員ばかりでなく、職員、あるいは後刻、詳細を知るであろう市民の誰の目にも明らかであります。

過去に、議員報酬カットについて、全会一致でなければとの判断で、報酬カットが見送られた事実がある。それが、議員は報酬カットにも応じない、議会は市民を無視しているという大合唱に発展した。そして、それがひいては定数削減要望になっていた。これを起した原因は当然、議長が負うべきであります。

議長就任以来、数々の事柄に対して、議長がとった処置や対応の拙劣さ、それは即、市議会の姿として市民の目に映りました。その悪影響は、はかりしれないものがあると思います。

これ以上議長席にあることは、牧之原市民にとって大きなマイナスとならざるを得ません。

よって、川島議長の議長席からの退任を求めるべきであろうと思います、不信任を提案します。

(樽林)

▼動議に対する賛成意見

●議長には、議事運営・病院問題等素晴らしいリーダーシップで尊敬していたが、今回の請願の取扱い等がルールを逸脱している。これでは、議長不信任に賛成せざるを得ない。

(鷺坂)

▼動議に対する討論

●議論を重ねる中で最良の結果を出すことが、本来の議会の姿で一番大切なことだと思います。

議員定数の変更がきっかけとなり、議長不信任が提出されましたことは「理」が通っていないことから反対とします。

(太田)



否決

**賛成8名
反対11名**

採決結果

賛成者

・鈴木千津子
・笠原 恒彦
・松浦 毅
・大鐘 俊英
・鷺坂 隆夫
・糸田 幸一
・大石 和央
・樽林 憲樹

反対者

・中山 香
・太田 佳晴
・本杉 光雄
・中野 康子
・大関 住男
・小杉 康男
・鈴木 正樹
・名波 富幸
・加藤 祥司
・田村 兼夫
・増田 仁

臨時議会を開催

議員、職員等のボーナス一部カット

5月26日に開催された臨時議会で、慎重な審議の結果、原案どおり全て可決されました。

議員 発議

○牧之原市議会の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例

可決

**賛成20名
反対0名**

▼提案理由

現下の経済不況の影響は、牧之原市の財政にとっても例外ではない。

報酬等のカットは行政も実施しているし、議会改革の一環としても、6月期末手当の10%カットを提案する。(鈴木勇)

条例の一部改正

○牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数)

▼議案に対する討論

《賛成討論》

●内需を冷やす一時金削減をあえて前倒しで行う道理はない。消費低迷と景気悪化の悪循環を加速させるだけである。公務員労働者、市民生活、地方経済を守る立場から反対する。

(糸田)

《賛成討論》

●百年に一度とも言われている世界的な経済危機の中で、日本が立ち上がるために、国民一人一人が痛みを分かち合うときであることを認識して、辛いことではあるが、職員にも賞与カットをお願いしたい。

(太田)

その他可決された議案一覧

○牧之原市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 (全員可決)

○牧之原市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例(全員可決)

議会を傍聴してみませんか!!

市政の動向を知るには、議会を傍聴することが一番です。議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴は、事前予約などいりません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越し下さい。

議会だよりの「市民の声」コーナーで、皆さんの議会傍聴後のご感想・ご意見を掲載しています。



市政を問う

各議員の一般質問や、定例会等の
会議録は、市ホームページで
ご覧いただけます。

一般質問とは、議員が執行機関（市
や教育委員会など）に対し、一般事
務全般にわたっての執行状況や将来
の方針などについて、事実の説明を
求めたり、または所見をたずること
をいいます。

牧之原市議会では、一人の質問時
間は、質問・答弁含め60分以内。質
問方法は、一問一答式または一括式
が選択できます。

6月定例会では、13人が一般質問
に立ちました。

災害に強いまちづくりを 市民の手で

鷺坂 隆夫 議員

問

狭い道路をは
さんで家が密
集しているところ
では、病人、火災
等緊急時に緊急車
両がスムーズに活
動出来なく、日常
生活に支障を来し
ている。

幅員1・8m以
上4m未満のうち、
建築基準法施行時
に既に建物が複数
に既に建物が複数
建ち並んでいて、前道路を使用
している場合は、みなし道路（建
築基準法第42条2項道路）に該
当し、この道路に接する敷地に
建物を新築・増築・改築すると
きは、建物や門、塀等は、道
路の中心から2mの線まで後退
することが建築基準法に規定さ
れている。

市民自身が毎日利用する生活
道路であり、車社会の中で、付
近住民が気持ちよく暮らせる道
路整備を実施していくには、こ
の建築基準法2項道路のセット
バックの指導要綱を充実させ、

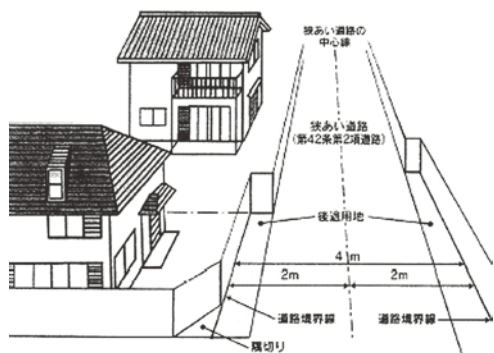
市民が進んで基準法を遵守し、
自分の家の前の道路が幅員4m
に拡張され緊急車輛が入れる道
路に、市民のモラルと市民の手
でまちづくりができるよう指導
できないか。

答

市民の意識改革を積極的に
お願いしていきます。

制度の要綱が示されたので、
今後、建築基準法の意義と制度
の啓発を行い、市民の意識改革
を積極的にお願いして行きます。
狭あい道路整備等促進事業補助
金制度対象となる事業は次の通
りです。

- ①調査・測量もしくは設計・分
筆又は登記に要する費用。
- ②用地の取得・築造・舗装に要
する費用が補助対象です。



狭あい道路整備の促進を図る

榎林 憲樹 議員

核兵器廃絶平和都市 宣言の実現を早く

問 標記事項の実現を求めた市民の8千余人の請願は、議会で採択された。市は、これを重く受け止め、請願に応えるべきであると思うが、どうか。

答 変動する世界情勢の中、都市宣言の制定は、広範な市民とともに、核兵器に対する様々な考え方や主義主張を確認、議論し、多くの市民の共通認識、共通理解を確立した上で、牧之原市としての特色ある都市宣言を制定することが、重要であると思います。

現在、制定に向けて、一緒に検討していただける市民を募集し、6名の方から応募をいただきました。

今後、この方々とともに、都市宣言の制定に向けた体制の構築、制定方法、市民への広報活動等を検討し、なるべく早期に制定できるよう、努めていきたいと考えています。

茶業不振の現状に立って この振興策は

問 今年一番茶の生葉価格の暴落は壊滅的で、農家の生産意欲を失わせている。市は、どのような対策を講じようとするか。

答 茶産業振興対策として、市は「やぶきた」に代わる品種茶の普及活動、植栽に掛かる苗木経費・畝間改植への支援、肥培管理から摘採までの効率化を図れる基盤整備の推進や「被覆茶」「発酵茶」など新規商品への取組みに対する支援。また、市茶業振興協議会が中心となり、空港を利用した販路拡大につながるPR活動、市内小学生を対象とした闘茶会などの消費拡大への対策を引き続き行います。



お茶の種類を当てよう。(子ども闘茶会)

中山 香 議員

資源回収は誰のため

問 小・中学校では、PTA活動として資源回収事業がある。近年、中国の経済成長もあり、古紙もkg12円と高値であった。市からの奨励金を含めると、学校規模にもよるが100万円〜200万円程になっている。

この収益は、各学校独自の環境整備や親子での体験事業にあてる財源である。しかし、最近ではエアコン移設工事やトイレ便器修繕工事、教室カーテン交換等、本来、教育委員会が支出すべき事業が多く目に付く。

オリンピックも終わり、世界的な不況で古紙もkg8円と下落している。このままでは、各PTAの事業費が底を付いてしまう。

税金で整備する「子どものため」と、PTAで整備する「子どものため」とは守備範囲が違うのではないか。資源回収の収益を奨励金ごと教育委員会が「資金

回収」をしている現状をどう考えるか。

答 昨年、資源回収収益からの備品購入が市内13校で約900万円、修繕は約250万円、合計では約1千150万円でした。

市財政の厳しい状況下、各学校に歳出削減をすすめるため、PTAから支援を受けていると考えます。

今回の指摘に関して十分理解しています。各学校からの要望にはできる限り応え、PTAの支援に甘んじることなく、予算獲得に努力します。



資源回収事業

鈴木 正樹 議員

牧之原市の 食育のあり方は

問 進捗状況の現状値の報告を。

答 朝食の欠食率は、子どもが13%、20代39%、30代28%です。40、50、60代では10%以下です。

問 子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進効果の表れです。20・30代の欠食率は、子どもを抱える年代。問題があるのではないか。

答 学校にこれ以上求めないでほしい。家庭に問題あり。家庭への食育を支援します。

問 給食でのポリ食器の使用は子どもを大人と同等に扱うべきと思うが如何か、教育長に問う。

答 人格軽視とは思っていません。割れやすい、怪我をしやすい等の安全面での扱いです。



まちに待った給食時間

問 残食原因の一つは、量と時間だと思うが如何か。

答 量については、カロリー計算上で決め、時間は、中学校で25分、小学校で35分取っています。完食までの時間は十分あります。

中野 康子 議員

生活保護の 現状と課題

問 経済・雇用環境が厳しい昨今、生活保護の相談・申請

件数が増加しているのではないかと。適切な審査、運用は勿論であるが、自立支援態勢の充実に力を入れるべきだと思うが如何か。

答 現在の保護受給者は、70世帯81人、前年比約1.4倍です。保護率は1.2%が1.6%と急速に増加しています。最近では、懸命に求職活動をして就職できず保護受給者になる方が目立ちます。保護を受けられている方も、その能力に応じた自立を求められていますので、「就労支援プログラム」に基づいて組織的に支援していきます。

査察指導員1名とケースワーカー12名にして態勢を充実させ、適切に業務を遂行していきます。

地上デジタル化への 対応状況

問 アナログ放送から、2年後

には地上デジタル放送に移行される。難視聴地域の解消や共聴施設の調整など、国の施策に沿って取り組みなければならないと思う。デジタル化は、基本的には個人対応であるが、生活保護世帯ははじめ対応できない方への配慮は出来ないか。

答 地上デジタル化への周知・広報活動の一環として、県市共に住民向けの説明会や「高齢者・障害者等への働きかけサポート事業」を実施する予定です。対応できない方には、個別に相談していきます。



2011年7月地デジに移行

名波 富幸 議員

牧之原市の茶業の現状と施策について

問 牧之原市の茶業は、過去40年間安定的に成長してきた。しかし、ここ数年価格が下落し、本年は生葉生産者にとって危機的状況にある。どのような施策をとるのか。

答 様々な社会環境の変化に

より生葉生産農家の経営は非常に厳しい状況だと理解しています。茶業の振興策については、認定農業者に茶園を集積したり、茶工場を単位とした生産から販売までを一貫して行う生産法人を育て支援していきます。

問 急傾斜地や狭小な茶園に、牧之原市の風土にあった作物を作り上げていくべきと考える。又370haの耕作放棄地をどのように活用するのか。

答 急傾斜地等、採算の悪い茶園は他の作物に転換していくことも必要です。お茶と野菜の複合経営をするとか、マン

ゴーやいちじく、さくらんぼやジャトロファなども転換作物の候補と考えます。

市も情報提供等で積極的に支援し、耕作放棄地については農業委員会において放棄地解消のため、山林原野に戻す土地と農地に再生する土地を区別し、地図化により再利用を模索していく考えです。

遊休市有地の活用は

答 市有財産は約6千800㎡を所有している。本市では、必要のない財産は売り払うという基本姿勢です。今後、台帳の精査や現地の確認作業を行い、売り払いも含めて有効活用していきたいと考えます。



有効活用を求められる市有地

増田 仁 議員

問 教育は人なり。どんなに優れた教育制度や施設があっても、優れた教師には勝てない。教師の育成こそ重要であるがどうか。

答 成長過程にある子供に「知識」と「生き方」を教える職業である以上、強い責任感と使命感が求められます。

優れた教員を育てるためには、とりわけ日々の実践が大切です。それには、校内外の研修が意欲的にできるような環境づくりに努めていく事が大切だと思います。

これからの教育について抱く提言

答 経済危機が人の心に及ぶ事のないよう子供はもとより、とりまく大人たちの心の危機も救うのが教育であると思います。

問 小中学校への司書教諭の配置と勤務内容の実態は。

答 現在2校を除いて司書教

諭の配置ができました。専科教員としての位置づけが不明確で、司書教諭本来の役割を果たすまでには至っていません。選任の司書教諭の全校配置を、強く要望しています。

問 理科教育の振興と教員配置増を考えているか。

答 市内小学校6校に理科支援員を配置し、実験助手として活躍してくれています。

また、山崎財団の事業で、2校を理科振興モデル校に指定し、後世に受け継ぐ基盤作りを具体化したいと考えています。



教育は人なり

桑田 幸一 議員

新介護認定の 取り組みは

今回の改定は、調査項目が削減され、調査基準も改悪され、「介護の取りあげ」がますます進むのではないかと懸念されている。国会でも今回の改定が要介護度を引き下げ、介護保険の給付費を削減することを目的として検討されたものであることが、厚労省の内部資料から明らかになりました。市の取り組み運用について伺う。

問 「経過措置の実施」（利用者の希望で従来の要介護度が継続できる）の周知を。

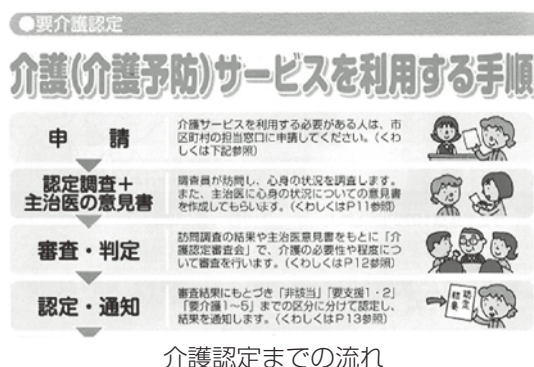
答 現在、全ての対象者に通知し、窓口で申請を行う時にも説明し、希望についての調査票と申請書を受けつけています。又、ケアマネージャーや事業所においても相談を受けつけていただいています。

現在までに、今回の措置についての苦情などはありません。今後もケアマネージャーや事業

所の皆様と連携し、介護サービスの利用者に不利益にならないよう努めていきます。

問 「本人の状況が正確に反映される」認定制度の確立、運用を求める。

答 調査員は公正な審査を行うため必ず家族、又は家族がいない場合は、ケアマネージャーなど日頃の介護の状況がわかる関係者の立会いの下に、調査しています。主治医の意見書につきましては、医師会が独自に研修会を開くなど研鑽に努めています。審査資料につきましても一週間前に委員さんに送付し、公正な審査ができるよう努めています。



大石 和央 議員

海岸整備等を問う

問 県の事業ではあるが、静波・鹿島海岸の陸開について、静波の自動化や鹿島の電動化の見通しはどうか。

答 県の進めている陸開の電動化は、大規模なもの、開閉頻度が多いものから優先して実施しています。

鹿島陸開は常時閉鎖しており、電動化の計画はありません。静波については、突発地震に対応できる自動化を、引き続き関係機関に要望していきます。

問 相良地区の津波・高潮対策、榛原地区の避難地公園整備事業について、情報公開や説明責任は果たされているか。

答 計画作成や事業実施においては、地元議員・区長・地元代表者あるいは行政等の協議により作成し、事業実施は、その都度協議しています。

図書館7つの提言へ 市の対応は

問 一昨年、県下最低レベルの市の読書環境の改善について質問し、できるところから取り組んでいた。去る3月、図書館あり方検討会が提言をされたが、どのような対応をされるのか。

答 各提言項目を短期、中期、長期に分類し、平成23年度からの戦略プランに取り入れて参りたいと考えています。具体的対応としては、検討会員の皆さんや多くの人たちの意見を取り入れたいと考えています。



閉ざされた鹿島陸開

田村 兼夫 議員

問

市はこの四月からアメリカの姉妹都市から英語指導助手を招いて、中学校は勿論、小学校や保育園などの英語指導活動の助けをしていただいている。この指導助手は、会社から派遣されている指導助手とは違って、両市の親善、友好の進展などの任務も背負っている。

そのためにこの先生には、日本語、日本文化、歴史、特に市のいろいろな方と知合いになっ

姉妹都市からの英語指導助手の市の指導を問う

答

彼女らの教育活動は、本人の希望と、市国際交流協会と教育委員会との提携の結果です。

彼らの教育活動は、本人の希望と、市国際交流協会と教育委員会との提携の結果です。



英語指導助手のエリン・グリーンさん

現在、先輩の派遣指導助手について、榛原中学校で英語指導を学んでいます。二期期からは独立して、各学校に出掛ける予定です。この牧之原在住の二年間は、本人にとって日本語をはじめ、文化歴史の学習の実りある二年間であることを願っています。文化の面では、はりばら塾の茶道、華道、書道や着物の着付け教室などを紹介したいと思っています。

さらには学校行事、祭りなどの地域の行事活動に参加して、日本の文化伝統を肌で学んでいただければと思います。

当面する

財政運営は

加藤 祥司 議員

問

本年度の予算編成時に見込んだ歳入予測を大幅に下回る税収や、予定納税された税の還付額などで、大幅な歳入不足が生ずると見込まれている。どのような対応及び財政運営を進めるのか。

答

歳入予算に対し、法人市民税の減収分と法人市民税の還付額を合わせて7億円の影響が予測されています。また、榛原総合病院への追加支援も確定な部分もあるので、財政確保の所要額の把握に苦慮しています。

このような中で、前年度繰越金が、当初予測より多い7億7千500万円が見込まれること、更に国の補正予算の経済危機対策臨時交付金や詳細が不明なこともあり、公共投資臨時交付金の有効活用を基本として対応していきます。

また、この厳しい財政状況を



慎重な審議をする議会風景

打開していくために、職員の意識の改革と事務事業の見直し、及び経常経費の節約に努めていきます。

事業の見直しについては、今年度の事業はすでに着手しているものもあるので、大幅な見直しは難しいが、事業内容を精査する中で、事業実施の先送りや凍結も検討しなければならぬと考えています。

太田 佳晴 議員

茶生葉の生産調整の必要性

問

荒茶の過剰在庫を削減して、一番茶の生葉価格を安定させ、生葉生産農家を救済することと、牧之原市、また静岡県全体への経済効果が期待できる。

そのために、茶処日本一の牧之原市長がリーダーシップをとり、全国に呼びかけて一番茶後の台刈り更新による生葉の生産調整を行い、10a当たり5万円の補助金をつけた場合、全国規模で最大203億円ほどが必要となるが、国や関係する県、指導機関と連携して実現に向けて行動を起こす考えがあるか伺いたい。

答

J A 静岡県経済連では、5月初旬に「二番茶以降の園地で生産量を調整するための中切り、深刈り更新を進める通達」を県全域に出すことについて、会議を初めて持ちましたが、「さらに議論が必要である」との理由から、各JAおよび農家の自主的な取り組みとすることに

とどめました。

しかし、指導機関である経済連が、はっきりと生産量抑制について意思表示する対応は初めてのことです。

一部の意見として「産地間の競争もあり、今はやるべきではない」との慎重意見もあります。が、市としても早急に静岡県としての考えをまとめ、県内外の茶産地との調整を図るよう、関係機関や各政党への要望意見として内容を伝えるなどの働きかけを行っていきます。



中切り更新された茶園

選挙公約の自己評価と次期市長選への出馬は…

問

市長は牧之原市の幸福実現都市を目指すとしてスタートした。しかし、当初から病院問題に直面、さらには経済危機に遭遇し対応に苦慮してきた。任期あと数カ月を残し、選挙公約の自己評価と次期市長選への出馬について伺う。

答

選挙時のマニフェストに8つの重点施策を揚げ、各事業について執行部で検討し、その事業を市の事務事業として総合計画及び実施計画に盛り込み戦略プランを作成し、その実現に向け取り組んできました。この戦略プランにおける各事業については、毎年進捗状況をチェック管理し、その反省を踏まえ次年度につなげています。

19年度には、マニフェスト中間報告を行いました。69点と自己採点し

松浦 毅 議員

ました。目まぐるしく移り変わる日々の中、市民の皆様の安全安心確保のため、その時々状況において、事業展開し、情報を公開し、精神誠意、精一杯取り組みできたつもりです。

次期市長選出馬につきましても、はつきり示すべきと思いますが、現在、市の財政課題が直面しており、9月からは病院の指定管理者制度を導入した公設民営化の作業もあります。私は自分なりに事業を見届けたところで、自分なりの答えを出したいと考えています。



苦境にたつ榛原総合病院

青森県六ヶ所村、 日本原燃(株)視察

日本原燃(株)視察

今回の視察研修は、一つに青森県三戸町での友好都市提携調印式に市長をはじめ市職員・議員で参加。大歓迎の中で調印式が行われました。

次の視察は、浜岡原子力発電所の1・2号機の廃炉が決まり、使用済燃料乾式貯蔵施設建設など、今後、議会で検討するため視察研修であります。

日本原燃(株)では、管内740haに高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター・低レベル放射性廃棄物物理設センター・ウラン濃縮工場・再処理工場が点在し、安全のための徹底した管理体制がひかれています。

特に、再処理工場では、原子

視察報告

燃料サイクル事業の現状や耐震への安全性、プルサーマルの発電利用、環境への影響、CO2削減など温暖化防止への取り組みについて説明を受けました。



友好都市提携協定調印式
(青森県三戸町で)



日本原燃(株)PRセンターで説明を受ける

資源には限りがあります。原子燃料サイクルの重要性、世界規模での環境問題を考えるための説明でもありました。

今回の視察での研修成果をすぐに表すことはできませんが、原子力行政を考える意識や知識をつける研修ができたと思います。

指定管理者の導入へ 議会へ方向性を説明

榛原総合病院の方向性については、構成市町の議会に病院組合から二回の説明がありました。

そして、今後の病院経営に指定管理者制度を導入していくことが、示されました。

財政支援も限界に

あらまは、次のとおりです。
①平成19年度から開始された、両市町からの基準外の財政支援(赤字補てん)は限界にきている。

②これまでに、ベッド数35床の削減(300床に)、委託事業の縮小、技師や事務職員の給料10%カット、医師、看護師の管理職手当10%カット、各大学へ医師

派遣の要請、あるいは国や県への要望などを進めてきた。

しかし、医師はさらに減少し、41人(4月1日)が、9月には33人になる見込みである。

③今年の両市町の負担は、基準内負担金、基準外負担金に加えて、短期貸付金、それに更なる支援金の総額は30億円余に達する。

このままの状況が続けば22年3月までには、更に9億円ほどの追加支援が見込まれ、総額では40億円弱の負担が両市町に及ぶこととなり、両市町の財政破綻に繋がりがかねない。

まず存続と負担軽減を

私たちの命と健康を守る、地域の基幹病院として、榛原総合病院の存続は、市民みんなが願っています。このための、唯一の方策として決定されたのが、指定管理者制度の導入でした。

既に病院組合議会で、指定管理の移行に伴う関係条例の改正が議決され、7月に業者の公募が行われています。

新しい体制での診療開始は9月以降なるべく早期をめざしますが、議会では、いままでも病院支援のための検討委員会、議論や提案をしてきました。

今後も病院の再建に向けて、更なる努力をしていきます。



文教厚生委員会が片浜小学校の複式学級を視察



経済建設委員会が
473号バイパスの進捗状況を視察



文教厚生委員会が耐震補強工事現場を視察

9月定例会の日程

9月2日(水)	提案説明
9日(水)	本会議
16日(水)・17日(木)	一般質問
18日(金)	一般質問予備日
25日(金)	最終日

相良庁舎4階議場 9:00～

詳しいことは 議会事務局
電話 53-2650へ

議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

大鐘 俊英
中山 香
加藤 祥司
大関 住男
本杉 光雄
松浦 毅

この議会だよりが、みなさんのお手元に届く頃は、46年ぶりに日本で観測される「皆既日食」の後だと思えます。前回日本で観測された当時は、東京オリンピック開催に向けて東海道新幹線、首都高速道路の建設が急ピッチで行なわれていた高度経済成長時代です。この年の11月1日南ベトナムの大統領が暗殺され、5日池田首相が極右に短刀で襲われ、21日に第30回衆議院総選挙投票、23日ジョン・F・ケネディ大統領が暗殺された。46年前(昭和38年)を改めて調べてみると、いつの時代も揺れ動いています。秋には市議会も改選されます。新しい広報特別委員会には、明るいニュースがたくさん、市民の皆様にお届けできることを願って私たちの委員会を閉じることになります。

編集後記

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。

〒421-0592 牧之原市相良275番地 電話0548(53)2650 FAX 0548(52)1116

牧之原市ホームページ <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp> 市議会メールアドレス gikai@city.makinohara.shizuoka.jp

「まきのはら市議会だより」は再生紙を使用しています。